

さんまへの支出

- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -

食べ物がおいしい季節となりました。秋の味覚の一つとしてさんまがあります。そこで、今月はさんまへの支出について、家計調査の結果からみてみましょう。

秋に旬を迎えるさんま

さんまは、漢字では「秋刀魚」と書きますが、漢字のとおり秋に旬を迎える魚です。1世帯当たりの月別支出金額の推移をみると、支出が最も多くなる9月の支出金額は、平成23年が378円で13年（556円）の約0.7倍となっています。9月に最も支出が多くなる傾向は平成13年と同様となっていますが、支出金額は10年前と比べて減少しています。（図1）

世帯主の年齢が高い世帯で多く購入

次に、平成23年の結果からさんまの1世帯当たりの年間購入数量を世帯主の年齢階級別にみると、60～69歳の世帯で最も多く、次いで70歳以上の世帯となっており、世帯主の年齢の高い世帯で多くなっています。最も多い60～69歳の世帯では2,179gと、最も少ない29歳以下の世帯（563g）の約4倍となっています（図2）。

さんまの購入数量は仙台市が1位

最後に、さんまの1世帯当たりの年間購入数量を都道府県庁所在市及び政令指定都市別にみると、平成21～23年平均では、仙台市が3,711gと最も多くなっており、続いて青森市（3,590g）、盛岡市（3,376g）と東北地方で多くなっています。

一方、最も少ない市は福岡市（865g）で、続いて長崎市（910g）、北九州市（1,027g）と九州地方で少なくなっています（図3）。

図1 さんまの月別支出金額（平成13年・23年）

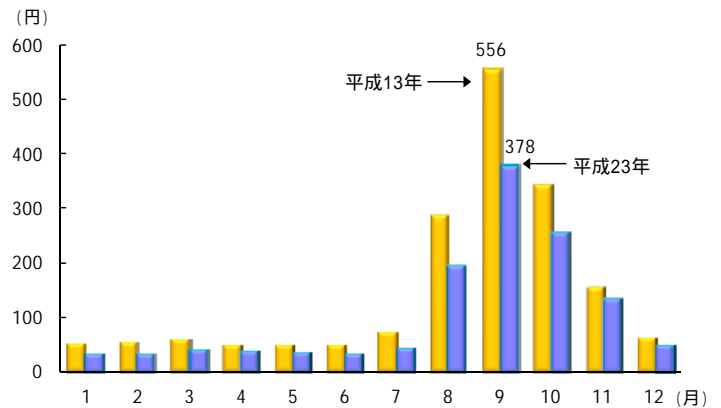


図2 さんまの世帯主の年齢階級別年間購入数量（平成23年）

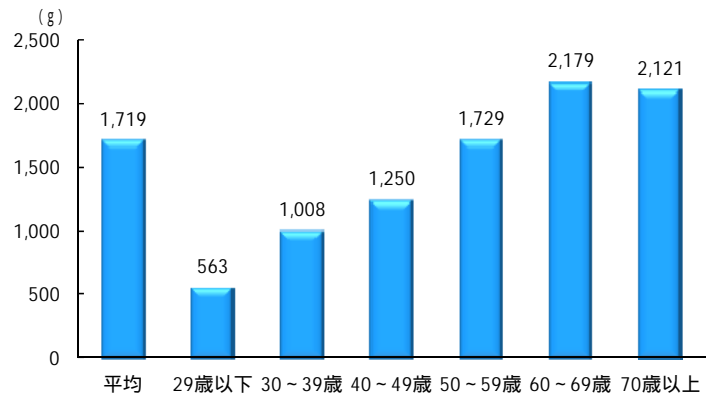


図3 さんまの都道府県庁所在市及び政令指定都市別年間購入数量（平成21～23年平均）

